

会期:2011年 10月1日(土)~11月27日(日)

企画展

渋沢栄一と「実業之日本」

雑誌メディアに見る 実業家たち

主催… 渋沢史料館
後援… 株式会社実業之日本社



入館料

一般 300円

小中高生 100円

関連講演会

講師: 増田義和氏
(株式会社実業之日本社 会長)

日時: 11月19日(土)
13時30分~

本企画展は渋沢栄一没後八十年を偲び、渋沢史料館において開催するものなり

10月1日・2日、11月6日は入館無料

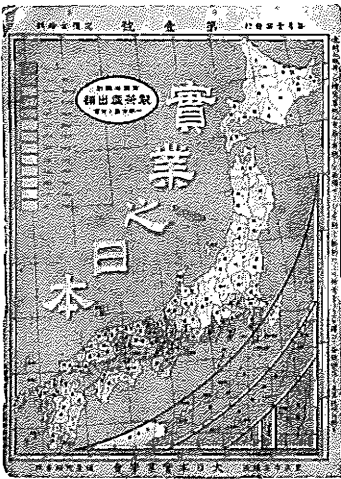


公益財団法人 渋沢栄一記念財団
渋沢史料館
Shibusawa Memorial Museum

東京文化財ウーク2011参加事業



実業之日本社創立30周年記念晩餐会 昭和2年7月1日 日本工業倶楽部にて (渋沢史料館所蔵)
 前列左より、大隈信常、浅野総一郎、大倉喜八郎、増田義一、渋沢栄一、高田早苗、内藤久寛、大川平三郎、徳富蘇峰、三宅雪嶺



渋沢栄一は第一銀行頭取など実業家として活動するなかで、講演や寄稿などを通じて自身の意見を広く社会に発信していました。

渋沢栄一が多く寄稿していた雑誌に『実業之日本』があります。同誌は、明治30年(1897)6月に創刊した雑誌であり、『東京経済雑誌』、『東洋経済新報』とともに近代日本を代表する経済雑誌の1つです。

雑誌『実業之日本』には、渋沢栄一の寄稿や談話が頻りに掲載されており、内容は経済・財政意見、時事論、道徳経済合一説を基にした処世訓や体験談など多岐に渡ります。

渋沢栄一の没後80年を迎える本年、この展示では、渋沢栄一が雑誌『実業之日本』にどのような意見を寄稿していたのかを振り返るとともに、同時代に活躍した実業家たちの記事もご紹介いたします。そして雑誌『実業之日本』を通して、近代日本における実業家と雑誌メディアとの関連をご覧ください。

『実業之日本』第1号(明治30年)
 (渋沢史料館所蔵)

公益財団法人 渋沢栄一記念財団 〒114-0024 東京都北区西ヶ原2-16-1
渋沢史料館 電話：03(3910)0005
 Shibusawa Memorial Museum <http://www.shibusawa.or.jp>

○関連講演会「実業之日本社の過去、現在、未来」

講師：増田義和氏(株式会社実業之日本社 会長)
 日時：2011年11月19日(土) 13:30~15:00
 会場：渋沢史料館 会議室
 定員：40名(事前申込・先着順)
 参加費：無料(ただし入館券が必要)
 ※申込方法 次のA、B、Cいずれかの方法でお申し込みができます。
 A) 往復ハガキに、①郵便番号②住所③氏名(ふりがな)④年齢⑤電話番号をご記入のうえ、「11月19日イベント係」まで。1枚につき、2名まで応募可。2名の場合は、それぞれの氏名を必ず明記のこと。
 B) 当館ホームページの専用フォームよりお申し込みください。
 C) 当館受付にてお申し込みください。

●JR京浜東北線王子駅南口徒歩5分
 ●東京メトロ南北線西ヶ原駅徒歩7分
 ●都電荒川線飛鳥山停留所徒歩4分
 ●都バス飛鳥山停留所徒歩5分
 ●北区コミュニティバス飛鳥山公園停留所徒歩3分

専用駐車場はありませんので、公共の交通機関をご利用ください。

【会期】2011年10月1日(土)~11月27日(日)
 【会期中の休館日】10月3・11・17・24・31日、11月4・7・14・21・24日
 【開館時間】10:00~17:00(入館は16:30まで)
 【入館料】一般 300円(240円)・小中高生 100円(80円)
 ※ ()内は20名以上の団体料金
 飛鳥山3つの博物館 三館共通券 一般 720円・小中高生 240円

今後の予定
 【渋沢栄一命日記念】11月6日(日)は入館無料
 【次回の展示】2011年12月6日(火)~2012年3月4日(日)
 渋沢栄一の書跡などを紹介
 2012年3月17日(土)~5月27日(日)
 企画展「澁澤倉庫株式会社と渋沢栄一」(仮)